

令和5年度の主な事業報告

社会福祉法人多聞福祉会

令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）事業につき、
その概要を以下のとおり御報告いたします。

【法人本部】

I. 法人事業の沿革

(1) 任期満了に伴う理事・監事選任

令和5年 6月24日 評議員会において理事・監事全員重任

令和5年 6月24日 理事会において理事長重任

(2) 規程の変更

令和5年10月 1日施行 「就業規則」別表改正

「給与・賞与規程」一部改正

令和6年 2月 1日施行 「給与・賞与規程」一部改正

(3) 令和5年度福岡県社会福祉施設等物価高騰対策支援金

令和5年 9月28日 ￥2,471,000受領

令和6年 2月29日 ￥2,501,400受領

(4) 役員会

理事会

第1回開催日 令和5年 6月 8日（木）

（決議事項）

第1号議案 令和4年度 事業報告（案）について承認の件

第2号議案 令和4年度 決算報告（案）について承認の件

第3号議案 令和4年度 法人監査指摘事項について

第4号議案 役員等賠償責任保険契約について承認の件

第5号議案 任期満了に伴う理事・監事選任（案）について

第6号議案 定時評議員会の招集について

（報告事項）

・職務執行状況の報告

・社会福祉充実残額について

第2回開催日 令和5年 6月24日（土）

（決議事項）

第1号議案 理事長の選定について

決議の省略について提案書送付 令和5年11月24日

(決議事項)

第1号議案 就業規則(別表)の改正及び「給与・賞与規程」の改正について

(決議日)

令和5年12月3日 理事全員の同意書到達

第3回開催日 令和6年3月28日(木)

(決議事項)

第1号議案 令和5年度 補正予算(案)について承認の件

第2号議案 令和6年度 事業計画(案)について承認の件

第3号議案 令和6年度 収支予算(案)について承認の件

第4号議案 「給与・賞与規程」条文削除及び変更について承認の件

(報告事項)

- ・職務執行状況の報告

評議員会

定時評議員会開催日 令和5年6月24日(土)

(決議事項)

第1号議案 令和4年度計算書類及び財産目録について承認の件

第2号議案 任期満了に伴う理事・監事選任の件

(報告事項)

- ・令和4年度事業報告の件
- ・社会福祉充実残額についての報告

監査会

開催日 令和5年5月27日(土)

令和4年度の理事の業務執行の状況及び法人の財産状況についての監査

(5) 1号特定技能外国人の採用

- ・令和5年4月1日 株式会社ハーティマインドなどの 支援委託契約締結
ネパール人2名(女性) 令和5年6月15日来日

(6) 地域との交流

- ・斗和保育園慰問
- ・斗和保育園訪問 クリスマス会(サンタクロースで訪問)
- ・広川町地域介護予防活動支援講師派遣事業
- ・広川町老人クラブ サロン活動交流会

(7) 防災訓練

- | | | |
|----------|--------------|--------------|
| ・ユニット型特養 | 夜間出火想定(総合訓練) | 令和5年7月25日実施 |
| ・デイサービス | 日中出火想定(総合訓練) | 令和5年11月28日実施 |
| ・特養 | 夜間出火想定(総合訓練) | 令和6年3月27日実施 |

(8) 研修

- ・中堅職員研修(オンライン研修)
令和5年6月 福岡県社会福祉協議会

- ・ **正副会長企画研修**
令和5年 8月・9月・11月・12月・2月 筑後地区老人福祉協議会
- ・ **生産性向上の取組に関する介護事業所向けビギナーセミナー（オンライン研修）**
令和5年 8月 厚生労働省
- ・ **通所介護部会セミナー（オンライン研修）**
令和5年 9月 全国老人福祉施設協議会
- ・ **認知症介護基礎研修（eラーニングシステム）**
令和5年10月 社）東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター
- ・ **キャリアアップ研修「ティーチングスキルを鍛える」（オンライン研修）**
「ロジカルシンキングを鍛える」（オンライン研修）
令和5年11月 福岡県老人福祉施設協議会
- ・ **ユニットリーダー研修（オンライン研修）**
令和5年11月 全国個室ユニット型施設推進協議会
- ・ **緩和ケア研修会**
令和5年11月 八女筑後地区在宅医療・介護連携推進協議会
- ・ **防災・BCP 訓練体験セミナー**
令和5年11月 九州電力株式会社
- ・ **福岡県災害派遣福祉チーム員養成研修**
令和5年12月 福岡県社会福祉協議会 地域福祉部 災害福祉支援センター
- ・ **大分県視察研修**
令和5年12月 筑後地区老人福祉施設協議会
- ・ **デジタル・テクノロジー基本研修**
令和5年12月 日本介護福祉士会
- ・ **健康管理セミナー「働く人のメンタルヘルス」**
令和6年 1月 聖マリアヘルスケアセンター
- ・ **外国人介護職員 介護技能等向上研修**
令和6年 2月 国際厚生事業団 外国人介護人材支援部
- ・ **九社連老人福祉施設協議会 施設長研修会**
令和6年 2月 ホテル日航熊本
- ・ **事業主人権・同和問題研修会**
令和6年 2月 八女地区同和对策雇用促進協議会
- ・ **経営戦略セミナー（オンライン研修）**
令和6年 3月 全国老人福祉施設協議会
- ・ **介護未来フォーラム**
令和6年 3月 厚生労働省 老健局登壇
- ・ **デイサービスにおける口腔ケアについて**
令和6年 3月 筑後地区老人福祉施設協議会 居宅介護サービス部会
- **職員スキルアップ研修 全職員WEB研修実施**
- ・ **全員共通必須研修（ジョブメドレーアカデミー）**
令和5年 4月 接遇に関する研修

- 5月 倫理及び法令遵守に関する研修
- 6月 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修
- 7月 高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修
- 8月 非常災害時の対応に関する研修
- 10月 身体拘束の排除の為の取組に関する研修
- 11月 事故発生又は再発防止に関する研修
- 12月 緊急時の対応に関する研修
- 令和6年 1月 褥瘡予防と褥瘡処置
- 2月 精神的ケアに関する研修
- 3月 介護施設での予知防犯対策について

○職員キャリアパスのための資格取得研修

・喀痰吸引等研修 (株) プレゼンスメディカル

- 令和5年 5月～ 6月 介護福祉士1名 令和5年12月 (認定特定行為業務従事者)
- 令和5年 9月～12月 介護福祉士2名 令和6年 3月 (認定特定行為業務従事者)

【特別養護老人ホーム彌栄苑】

I. 事業所の沿革

(1) 固定資産取得

〈器具及び備品〉

- ・リクライニング車椅子 1台寄贈 福岡トヨペット株式会社
令和5年11月 1日取得 ￥ 166,000

〈建物付属設備〉

- ・太陽光発電システム 更新 株式会社サンシャイン九州本部
令和5年 7月25日取得 ￥1,870,000

〈大規模修繕〉

- ・職員寮 (旧グループホーム) 改修工事 大坪建設株式会社
令和5年 5月26日施行 ￥5,940,000

(2) 地域との交流

- ・斗和保育園訪問・・・令和5年12月21日 クリスマス会 (サンタクロース)
- ・斗和保育園慰問・・・令和5年 6月28日、 7月26日、 8月30日
11月22日、12月20日、 2月28日 誕生会

II. 処 遇

(1) 相談支援について

①収入の確保

- ・入所率99%は確保できましたが、98%を目標としていた入所稼働率は91.7%でした。
月間入院者数は平均4.1人で、年間の部屋稼働率は、平均96%でした。令和5年度新規入所者は、男性4名、女性5名で平均要介護度は3.6でした。
- ・新規入所に関しては、日常生活自立度Ⅲ以上の利用者様を積極的に受け入れました。

②各種加算

- ・栄養マネジメント加算
- ・経口維持加算（対象者）
- ・療養食加算（対象者）
- ・日常生活継続支援加算
- ・夜勤職員配置加算
- ・看護体制加算
- ・科学的介護加算
- ・褥瘡マネジメント加算Ⅰ・Ⅱ
- ・安全対策体制加算

③地域に向けての発信

- ・ホームページサイトの訪問数が3808件でホームページ閲覧数が9425件でした。昨年度との比較では、大幅にホームページへのアクセス数が増加しました。

③ICTの活用

- ・令和2年度福岡県ICT導入支援事業で補助金を交付していただいた介護ソフトのタブレット端末を活用することで業務の効率化を図りました。

④業務継続計画（BCP）

- ・令和6年4月から義務化される感染症と自然災害について策定した業務継続計画（BCP）を整備し全職員に周知しました。

（2）処遇計画（ケアプラン）について

- ・施設の理念を目標に、利用者様の個性を尊重し、利用者様・職員共に優しさに溢れる暮らしの場の中で心地よい支援の提供に努めました。
- ・利用者様に対して職員の担当制を推進し、他職種と情報交換・情報共有を行いケアプランに基づいた利用者様一人一人にあった介護サービスの提供に努めました。
- ・利用者様・御家族から信頼され満足していただけるサービスの提供に努めました。

（3）OJT活動について

- ・令和5年度は、特定技能外国人としてネパールより2名入職しました。指導システム・指導マニュアルは職員全員への周知徹底を図り、外国人でも聞き取りやすいようにわかりやすい日本語でコミュニケーションを図りながら指導を行うよう努めました。
- ・学卒新人1名も入職しました。新人職員には、定期的にオリエンテーションを行い「出来る」「出来ない」を明確化し、目標に向かって介護職員としての意欲の向上に結びました。

（4）サービスの質・マナーの向上

- ・指導職員による向上委員会で、全職員の質の向上・意識向上に努めました。
- ・支援技術の向上や援助・マナーに関する知識・質の向上を図るため研修計画に則り外部研修への参加や内部研修またはオンライン研修を積極的に行い、研修で得た知識は全職員で共有し実践していきました。

（5）生活支援サービスの充実

- ・利用者様・御家族・多職種で話し合い作成したサービス計画に基づき、利用者様一人一人にあった生活支援に努めました。
- ・現有能力を大切にして自立した生活への支援を心掛けると共に、心身の状態観察に努め変化に応じて支援方法の変更・工夫を行っていきました。
- ・利用者様の意向を尊重しながらの支援に努めました。
- ・利用者様、職員共により安心・安全な介助を行えるよう移乗用リフトの活用を推進しました。

食 事

- ・安定した味付けやソフト食（嚥下対応食）を取り入れることにより衛生的で安心・安全な食事を提供しました。

- ・栄養、疾病、身体状況に配慮した食事形態を提供しました。
主食・・・常食、二炊き、粥、ミキサー粥
副食・・・常食、軟菜、ソフト食、ゼリー食
汁物・・・常食、トロミ、嚥下対応
- ・利用者様の楽しみのひとつであり喜びであることを認識し、給食業者と連携を図りながら季節感のある食事や行事食の提供を行いました。
- ・嗜好調査を実施し、利用者様の御意見が反映できる機会を設けていきました。

入 浴

- ・プライバシーの確保に努めながら、くつろげる雰囲気の中でゆっくり入浴していただけるよう支援を行いました。
- ・利用者様の状態に合わせて一般浴・中間浴・特浴を用意し、安心・安全な入浴を行いました。
- ・週に2回の入浴を実施し、体調不良時には清拭を行って清潔保持に努めました。

排 泄

- ・定時の排泄介助と共に、利用者様の排泄サイクルに合わせた随時の排泄介助を行いました。
- ・排泄チェックを行い、利用者様一人一人の排泄サイクルの把握に努め、利用者様一人一人に合ったパンツ・オムツ・パッドの検討を行いました。
- ・排泄委員会を中心に毎月1回オムツ業者を招いて研修を行い、より個別ケアに向けた活動を実施しました。

機能訓練

- ・毎月2回、外部の理学療法士に来苑していただき10名程度の利用者様にリハビリを実施していただきました。

(6) 健康維持

- ・利用者様の心身の状態を的確に把握し嘱託医師や協力病院との連携を密にし、適切に対応しました。
- ・年に1回、定期健康診断を行い利用者様の健康管理に努めました。
- ・褥瘡の早期発見・早期治療に努めました。
- ・感染症に対する予防については、看護師を中心に勉強会を実施しました。
- ・感染症対策については、業務継続計画（BCP）に基づき、クラスター発生時の対応を整備するとともに実施事項と役割を明確にしてサービスが滞ることのないように職員全員に周知しました。
- ・サービス計画に基づき、利用者様の心身の状況に応じて日常生活を営むために必要な機能を維持できるように努めました。
- ・介護職員による週2回のゼロプロ式口腔ケアの継続により誤嚥性肺炎の予防に努めました。
今年度は介護職員全員がゼロプロ式口腔ケア検定の初級に認定されました。

(7) 教養・娯楽

- ・笑顔と楽しみのある生活が送れるように四季折々の年間行事を大切にし、利用者様一人一人が、それぞれの状態に応じて参加意識を持つことができる活動を工夫しました。
- ・苑内で楽しめる手作りおやつやデザートビュッフェ、七夕のスイカ割やクリスマス会など新型コロナウイルスによる制限前に行っていた行事やレクリエーションを増やしました。
- ・毎月1回、誕生会において斗和保育園の園児様にご来苑いただきました。

(8) 御家族との連携

- ・新型コロナウイルス感染症が5類へ移行してことに伴い面会の制限を解除しました。
- ・御家族との面会制限が解除されたことから買い物イベントとして苑内デパートを計画しました。当日は20名近くの御家族様に来苑していただき、利用者様と一緒に買い物を楽しまれました。
- ・面会時での利用者様の状態報告や体調不良時の電話連絡等は、こまめに行い御家族との信頼関係が深まるよう努めました。

(9) 環境整備

- ・4S（整理・整頓・清掃・清潔）活動を通じて、安全・快適に生活ができるよう施設の環境づくりに努めました。
- ・施設内の設備や福祉用具は定期的に点検や修理を行い、利用者様の生活に支障がないように努めました。

【短期入所生活介護】

- ・短期入所生活介護（ショートステイ）の稼働率は平均62.4%で、目標の75.0%を達成できませんでした。ショートステイは、御家族の介護負担軽減を主目的とする事業であることから今後も積極的に新規利用の受け入れを行います。

【彌栄苑デイサービスセンター】

I. 事業所の概要

- | | |
|--------------|------------------------------------|
| (1) 定員 | 20名 |
| (2) 営業日 | 月曜日～土曜日 |
| (3) サービス提供時間 | 通所介護 9:40～17:45
総合事業 9:40～15:30 |

(4) 加算

- | | | | |
|--------|------------|--------------|--------------|
| 〈通所介護〉 | ・個別機能訓練加算 | ・科学的介護推進体制加算 | ・ベースアップ等支援加算 |
| 〈総合事業〉 | ・運動器機能向上加算 | ・科学的介護推進体制加算 | ・ベースアップ加算 |

II. 事業所の沿革

- | | |
|----------------|-------------------------------|
| (1) 設置・設備資金借入金 | 独立行政法人福祉医療機構 |
| 令和5年 5月10日 | 第36次借入金元金・利息償還実施 [¥1,788,160] |
| 令和5年11月10日 | 第37次借入金 利息償還実施 [¥14,080] |

(2) 固定資産取得

〈リース債務〉

- | | |
|-----------|-----------------------|
| ・LED照明 導入 | 株式会社インデペンデントインキューバ |
| | 令和6年 1月 更新 ¥3,011,580 |

(3) 地域との交流

〈広川町地域介護予防活動支援講師派遣事業〉

介護福祉士（シナプソロジーインストラクター） 2名（登録職員）

派遣場所 健康教室 いこっと

実施日	令和5年 4月12日	令和5年 5月10日
	令和5年 5月24日	令和5年 6月14日
	令和5年 6月28日	令和5年 7月12日
	令和5年 9月13日	令和5年 9月27日
	令和5年10月11日	令和5年10月25日
	令和5年11月 8日	令和5年11月22日
	令和5年12月13日	令和5年12月27日
	令和6年 1月10日	令和6年 1月24日
	令和6年 2月14日	令和6年 2月28日
	令和6年 3月13日	令和6年 3月27日

〈広川町老人クラブ サロン活動における交流会に参加（シナプソロジーの実施）〉

実施日	長延 公民館	令和5年 4月12日	
	川瀬北公民館	令和5年 5月25日	令和5年 6月19日
		令和6年 3月25日	
	一條 公民館	令和5年 6月15日	
	久泉 公民館	令和5年 7月24日	
	古賀 公民館	令和5年 9月27日	
	増永 公民館	令和5年11月21日	
	川瀬 公民館	令和6年 3月11日	

(4) 収入の確保

令和5年度の利用者様の平均要介護度は、1.6で平均年齢は87歳でした。平均稼働率は、46.0%でした。新規の利用者様は月に1名～2名はいらっしゃいますが入院によりサービスを中止される方もあり稼働率としては、今後に課題の残る結果となりました。

Ⅲ. 日 課

(1) 送 迎

可能な限り、御家族や利用者様の希望に沿った時間に送迎ができるように配車等の計画を立てました。新型コロナウイルス感染症が緩和されたことで、職員のマスク着用は継続していますが、車内パーティションの撤去を行いました。

感染症予防として、利用者様には引き続き体温測定、手指消毒を行ってから乗車して頂きました。来苑されてからも手指消毒をして頂いています。

(2) 入 浴

入浴前にバイタルチェックを実施して特変の無い場合は、利用者様の着脱を見守りながら一部介助を行いました。入浴のための一連動作は、利用者様の残存機能を活用したうえで、ご自身で出来る部分の洗身、洗髪をして頂きました。また、入浴時に皮膚観察を行い、皮膚の異常があれば御家族に報告を行いました。

(3) 排 泄

尿意・便意の訴えの無い利用者様には、排泄感覚を取り戻すことができるようトイレへの誘導の声掛けと排泄間隔の把握に努めました。必要な利用者様には、不安なく安全に排泄ができるよう一部介助を行いました。

(4) 食 事

昼食を配膳する前にテーブルの消毒を行い、利用者様には手指消毒をして頂きました。口腔機能の維持を図るため、食事前に耳下腺マッサージや唾液腺のマッサージ、パタカラ体操を実施しました。

献立の内容に関しては嗜好調査を行い食事の感想や御意見等を給食委員会で報告、改善をしていただきました。管理栄養士より利用者様の嚥下状態に応じた食事形態の変更等を行っています。15時にはおやつを提供しており、コロナ禍で中止になっていた手作りのおやつ作り（団子、ホットケーキ等）も再開しました。

昨年度より開始している夕食サービスでは、1日に1～3名の方が定期的に利用されました。一人暮らしの利用者様、御家族から夕食の希望があった方への夕食提供については、今後も広報活動を活発に行い周知していきます。

(5) レクリエーション

午前中は個人で出来るレクリエーション（作品作り、計算問題、間違い探し、漢字の書き取り等）に取り組んで頂きました。午後からは集団で参加できるゲーム（玉入れ、ボーリング、ビンゴ、トランプ等）に取り組んで頂きました。

桜見学、車窓からのドライブなど外出レクリエーションを行いました。地域のボランティアによる慰問もして頂きました。

(6) 個別機能訓練

本人の体調等を観察しながら、午前中はリズム体操や上下肢運動に取り組んで頂きました。午後からは、リハビリ室内のプーリーやペダル漕ぎ、バイオステップ、ボール体操、ゴム運動、平行棒訓練、立ち上がり訓練に取り組んで頂きました。また、施設内の歩行訓練や階段昇降等も取り組んで頂きました。取り組んで頂いた結果については、毎月1回、握力や歩行状態の確認を行っています。

(7) シナプソロジー

個別や集団でのシナプソロジーを行い、脳活性化の刺激を受けていただきました。戸惑いや混乱した時には利用者様の笑顔が見られました。利用者様同士での触れ合いとして実施できました。

(8) 年間行事

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことで、フロア内のテーブル上のパーテーションを撤去しました。また控えていた外出行事については、換気等に気遣いながらドライブをしたり花見をしました。季節に合わせて手作りおやつも再開し、2ヶ月に1度の割合で慰問にも来て頂きました。

【ユニット型特別養護老人ホーム】

I. 事業所の沿革

(1) 設置・設備資金借入金

独立行政法人福祉医療機構

令和5年 4月11日～令和6年 3月10日

第117次～第128次借入金元金・利息償還実施 ￥14,349,198

(2) 固定資産取得

〈器具及び備品〉

- | | | | |
|----------------|---------------|---|---------|
| ・リクライニング車椅子 2台 | 株式会社メディカルウィリー | | |
| | 令和5年 5月25日取得 | ￥ | 178,100 |
| | 令和5年 9月25日取得 | ￥ | 178,100 |
| ・洗濯乾燥機（シャープ）1台 | 株式会社ヤマダ電機 | | |
| | 令和5年 8月25日取得 | ￥ | 149,930 |

(3) 地域との交流

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ・斗和保育園 慰問 | 令和5年 9月13日、令和5年11月22日 |
| ・地域ボランティア 笑楽ぐるーぷ 慰問 | 令和5年 7月14日、令和5年10月31日 |
| ・ドッグセラピーチーム フレンドリー | 令和5年12月26日 |

II. 処 遇

(1) 相談支援について

①収入の確保

- ・令和5年度の平均入居稼働率は97%でした。月間入院数は平均2人でした。令和5年度新規入居者数は、男性2名、女性6名で平均要介護度は3.7でした。利用者様の体調不良による入院や退居が続いた時期がありました。待機者にお声かけするとすでに他の施設へ入居されていたり入院継続中であつたりで、空床になる期間が多くありました。待機者を確保するため、ご家族様からの紹介や老人保健施設へのパンフレット配布、ホームページにおいて活動の様子などを掲載し広報活動を行いました。

②各種加算

- | | | |
|--------------|---------|------------------|
| ・個別機能訓練加算 | ・看護体制加算 | ・褥瘡マネジメント加算（対象者） |
| ・口腔衛生管理加算 | ・排泄支援加算 | ・療養食加算（対象者） |
| ・科学的介護推進体制加算 | | ・安全対策体制加算（新規加算） |

(2) 生活支援について

入 浴

- ・利用者様の体調や希望に沿うように湯温や時間等を配慮して支援を行いました。

食 事

- ・ユニットごとの炊飯や温め、配膳を行うことでより温かい食事を召し上がって頂いています。食事の内容に対して意見や要望が出された場合は、管理栄養士と連携して随時、もしくは給食会議等で相談・改善を行いました。利用者様が給食以外の食物を希望されることもあり、出前を取ったりお誕生日には好物でお祝いしたりと工夫を凝らし、ユニット毎に特徴のある活動を行いました。その活動の際に利用者様の中には、準備や配膳、後片付けへの参加が定着化して

いる方がいらっしゃいますので、今後も残存能力の維持に繋がるよう支援していきます。

(3) 暮らしの継続

- ・ユニット最大の目標である「暮らしの継続」については、職員全体で意識しています。

入院等で基本的な生活のリズムが失われている状況であっても聞き取り項目を設けて、できる限り本来の御本人のライフスタイルに近づけるよう配慮しました。利用者様から相談を受けた場合はその都度改善に向けた対応を行っています。御家族には、面会の制限がなくなったことで自由に来苑していただくことができました。又、コロナ禍で制限されていた御家族との外出もできるようになりました。

(4) 健康管理

- ・医療面においては看護師と連携してより専門的な視点で病状の把握、管理を行いました。嘱託医、受診先の医師への状況報告や投薬の管理、緊急時の対応、健康診断なども含めて把握をし、必要な場合は、御家族への報告を行いました。
- ・看取りについては、嘱託医よりターミナル期が近づいていることを御家族にお伝えし、御家族と寄り添うことで思いを知り、寄り良い看取りについて沢山考え学ぶことができました。

(5) 機能訓練

- ・毎月2回、外部の理学療法士に来苑していただき、各ユニットの利用者様に合わせたリハビリを実施していただきました。
- ・脳活性を目標に生活の中に取り入れても違和感のない計算問題やパズル等に全体で取り組むことができました。デイサービスセンターからシナプソロジーの資格を持っている職員に講師に来ていただき、脳トレのレクリエーションを行いました。

(6) 行事・クラブ活動

- ・利用者様の状態やパーソナリティによってユニットごとのカラーが出やすいので基本的にユニットごとに様々な行事を行いました。また、ユニット全体で楽しめるレクリエーションや行事を考え季節感を感じていただけるよう創意工夫を凝らしました。
- ・主な行事やレクリエーション

敬老会	令和5年 9月16日	・ 運動会	令和5年10月26日
クリスマス	令和5年12月26日	・ 豆まき	令和6年 2月 2日
買い物イベント	令和6年 2月15日	・ おやつ外出	令和6年 3月11日

(7) 職員について

- ・ユニットのリーダーは、ユニットごとのカラーを出しながらも利用者様のニーズに応えるべくユニット職員と何度も話し合いをして、利用者様にとってより良い生活の場になるよう工夫をしました。24時間シートに基づき利用者様の希望に寄り添いながら施設の理念である和やか、健やか、穏やかな暮らしの場を笑顔と優しさで支援しています。
- ・利用者様・御家族と職員が連携を取り、各ユニットの雰囲気大切にしながらサービスの提供に努めました。